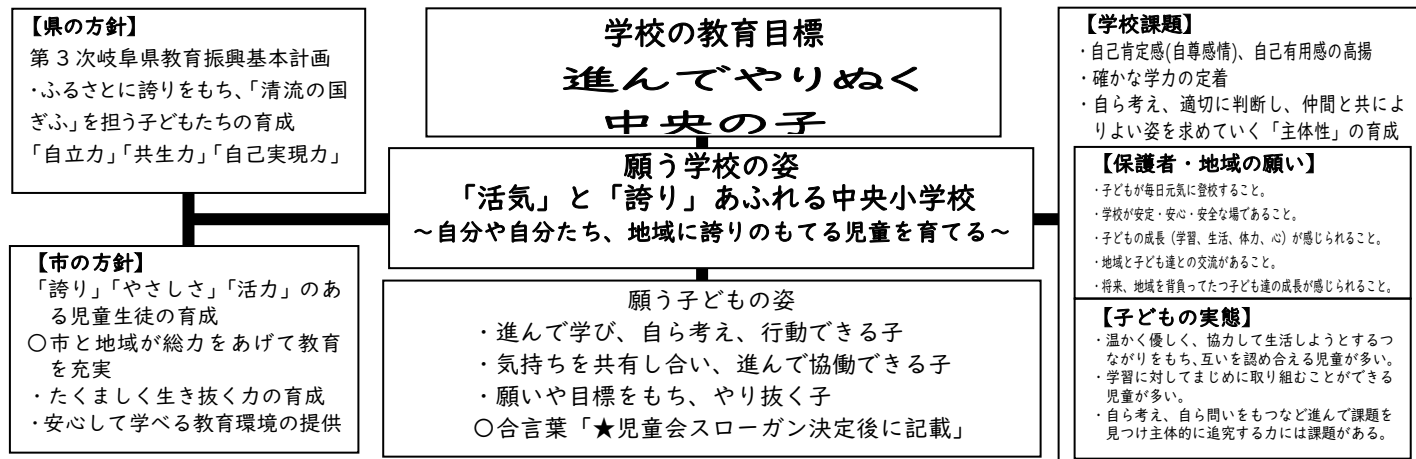


令和4年度 各務原市立中央小学校 学校経営の全体構想



◆経営の方針
 「大切にすること」を「大切にすること」で指導する！
 ・授業や諸活動を通して、自分と友達、家族、地域を大切にすることの育成 ・子どもの存在や心、活動の意味や意義、評価を大切にすることの指導

【学習活動】 ○「やってみたい」と思える、「わかった」「できた」を実感できる授業 ■中央小授業展開のスタンダード ・「何をすればよいか」「何がわかればよいか」を理解できる学習課題と見通し ・自立解決、仲間と深め合う場の充実と教師による個と全体のよさの価値付け ・「努力したこと」「わかったこと」「深めたこと」「友だちから学んだこと」など自己の変容を振り返る自己評価及び教師の価値付け（過程・努力） ■中央小授業姿勢のスタンダード ・意味や意義の実感と一人一人のよさの位置付けによる学習規律の定着 ・話す・聞く⇒話型の定着「疑問や質問のある人はいませんか」等 ・ハンドサインによる意思を示す挙手 ・気持ちを切り替える挨拶 ■ICTを活用した学習活動の充実 ・個に応じた学びの深まり ・家庭学習での活用 ■学習状況の把握と一人一人の状況に応じた個別支援と見届け ・つまずきと手立て ■授業改善サイクル ・学力調査や児童等アンケートを生かした授業改善 ■特別支援教育の充実 ・UDの環境とUDの授業作り	【児童活動】 ○一人一人に居場所があり、互いに尊重し合い、絆を深める児童活動 ・願いや目標の設定と共有する場の位置付け ・みんなで取り組む意識を高める評価 ・リーダーを中心に自分たちの力で課題を解決していく場の位置付けと実践力（企画・運営・評価）の価値付け ・ふわふわ言葉による他者評価「承認」と自己評価「貢献」「フィードバック」の相互評価の充実 ・一点突破の核となる委員会キャンペーン活動 ○道徳や学級活動、行事等を通して集団のルールや人間尊重の気持ちを高め、命の大切さを学ぶ機会の充実（道徳、人権教育、SDGs：共生） ・ひびき合い週間（年4回） ・中央小いじめゼロの取組 ・命を守る訓練 ・情報モラル教室 ・登下校、休み時間、休日 ・いずみ学級との交流 ○ボランティア※ボランティア手帳の充実 ・自ら行動できる機会の設定 ○学級活動（朝の会・帰りの会） ・主体性を伸ばす話し合い活動（自己決定） ・社会性を養うSSTの位置付け（中央タイムの充実） ・学級力の向上を図る学級ベスト宣言	【特色ある教育活動の重点】 ○未来へのあこがれの気持ちと自信がもてる学校 ■伝統「あさがお活動」の充実と発展 ・歴史と伝統、新たな歴史づくり ・創立期に込められた「みんながひとつに！」の願いの実現 ・児童の意見が反映される自主的な活動を仕組む ・よさの見つけ合い、認め合い ■活気あふれる「生き方」づくり ・キャリアパスポートを活用し、自己の成長やよさの実感 ・6年生「夢発表」を出口にしたキャリア教育の実践（含む：職業講話） ・生活科探検（1, 2年）中央探検隊（3年）環境（4年）、福祉（5年）による将来につながる地域の学習 ■ファミリー活動（縦割り活動） 人と関わる喜びを児童自らが獲得していく活動の推進 ・リードする年長者の主体的な企画 ・十分な準備時間の確保 ・「かかわり合いの喜び」を自信へとつなげていく振り返り ・思いを定着させる交流（作文や手紙等相互評価）
--	--	--

◆連携の重点 1 小小連携・幼保小中連携の充実 （1）中学校区の小学校間による交流の推進 （2）スムーズな移行のための幼・保・中学校との連携強化 ・保育所、幼稚園との具体的な情報交換等の推進 ・小中学校教職員交流と校区間小学校の指導内容の共有と統一 ・小中学校生同士による交流の拡大 2 保護者、地域の方とのさらなる連携の強化 （1）コミュニティースクールによる地域の共通活動を通して「自分のことが好きな子」を育てる （2）保護者や地域の方への情報発信と収集 （3）親と子、親と親、親と学校、親と地域がひとつになれるPTA活動の推進	■指導の構え ○丁寧に、意欲・思い・願いを引き出し、意味や意義をはっきりさせて、子どもと子ども、子どもと地域、学校と家庭、親と子どもをつなぐ、子ども、保護者、地域の方と一緒によい事実をつくる指導 ○評価・「よさ」「素晴らしさ」「新しい課題」に気付くように、過程の努力の実感が強く伴うように、次への意欲につながるように評価 ■互いに尊重し合い、チームで動く教職員 ・よさを組織で生かす、互いのよさを取り入れる ・率先垂範 ・主体性 ・資質向上 ■危機管理・安全管理 ・素早さ、適切さ、誠実さ、改善（危機意識の高揚） ・新型コロナウイルス等感染予防対策 ・食物アレルギー等の個別対応に係る共有と見届け
---	---

- ・温かく優しく、協力して生活しようとするつながりを持ち、多様性を認め合える児童が多い。
- ・素直で学習に対してまじめに取り組むことができる児童が多い。
- ・自ら考え、自ら問いをもつなど、進んで課題を見つけ、主体的に追究する力には課題がある。

温かく優しい子が多い。困っているときに「大丈夫？」と言える子が多い

友だちのよいところを見つけ、素直に喜んであげられる

、「多様性」を認め合える人間関係づくりをすること、二つ目は、子ども自らが関わろうとする「主体性」を引き出すこと、三つ目は、みんなで協力して生活しようとする「つながり」のある学級集団づくりをすることであった

・素直で学習に対して意欲的な児童が多い。 ・相手意識・目的意識をもって相手に分かりやすく話したり、書いたりする「表現する」ことに課題がある。 ・論理立てて物事を考えることに課題がある。

○素直で、互いに認め合い、男女の仲もよいなど、協調・協力の能力は高い。

○聞く態度や話し合いを通して深めていく力、表現力などには、研究会の成果もあり、向上が見られている。

△進んで課題を見つけ、主体的に追究する力には課題がある。

△基礎基本や家庭学習の習慣など、二極化が進んでいる。

△挨拶はよいが、場に応じた言葉づかいなど不十分な面がある。

自ら学ぶ姿 がお課題

- ・素直で優しい。
- ・仲良く活動し、好んで体を動かす。
- ・何事にもまじめに取り組む。

3つの柱 重要な視点

多様性

- ☐一人ひとりの考えや発言をみんなが認めている…①
- ☐多答の問いに対して、自分の考えを安心して出すことができる…②
- ☐自分にはない考えに耳を傾け、認めることができる…③

主体性

- ☐自ら知りたい、見つけたい、学びたいと感じている…①
- ☐自らが課題意識を持ち、学習を進めている…②
- ☐自らの力で粘り強く考えたり、調べたりしている…③
- ☐挑戦しようという気持ちになることができる…④

つながり

- ☐自分の考えを先生や友達に話している…①
- ☐友達の考えを聞いている…②
- ☐友達の考えと比べながら、自分の考えを話している…③
- ☐みんなと協力して課題を解決しようとしている…④
- ☐安心して学べる温かい雰囲気がある…⑤

■年度当初に当たっての確認事項

Ⅰ 服務関係について

(Ⅰ) 服務の遵守

- ・職務上の義務
- ・身分上の義務

(第 33 条) 信用失墜行為の禁止

職員は、その職の信用を傷つけ、又は職員の職全体の不名誉となるような行為をしてはならない。

（第 34 条）秘密を守る義務

すべて職員は、全体の奉仕者として公共の利益のために勤務し、且つ、職務の遂行に当っては、全力を挙げてこれに専念しなければならない。

- （2）保護者等配布の文書は、事前に教頭・主幹教諭・校長等のチェックを受ける。
- （3）児童の所在未確認、ケガ、生徒指導上の諸問題、保護者とのトラブル等の生徒指導・教務・教頭・校長等への「報告・連絡・相談」を徹底（一人でかかえこまない。）

2 教職員の事故防止について

- （1）人権尊重に徹した教育の推進、体罰の厳禁（言葉遣いにも注意！「〇〇さん」）
- （2）ゆとりある出勤等交通事故防止（前日の飲酒にも要注意！）
- （3）諸表簿・個人情報・タブレット・U S B、児童名簿・成績・会計簿等の適正な管理
 - ・職員室の机上、耐火書庫、キャビネット等の整理整頓
- （4）教職員倫理
 - ・良識を疑われる指導や不適切な発言
 - ・言葉遣いに留意（一部分の言葉だけが保護者に伝わり、不適切ととらえられる）
 - ・教員同士も言語環境を整える
 - ・勤務場所を離れても、教育公務員としての高い倫理観を

3 児童の安全等について

- （1）健康観察時に連絡なく不在の児童については、1校時開始までに所在確認を行う。（所在が確認できない場合は、管理職に報告）
- （2）交通ルール遵守等登下校時の安全確保に努める。（交通事故防止）
- （3）学習に取り組む基本的姿勢や約束事(授業規律等)の定着化を図る。（指導の徹底）
- （4）配慮を要する児童について管理職への報告・相談、共通理解を図るとともに、必要に応じて早期に保護者や関係機関との連携強化に努める。
- （5）定期的安全点検実施及び日々児童の安全に関わる事項・事案（施設設備等の破損 等）については、互いに迅速な周知と対応に努める。施設設備の安全管理、特に薬品、刃物類、体育施設、遊具類の安全管理を徹底する。
- （6）危機管理の「さしすせそ」
 - 「さ」・・・最悪を想定して
 - 「し」・・・慎重に
 - 「す」・・・素早く
 - 「せ」・・・誠意をもって
 - 「そ」・・・組織で対応

教育目標

- ◎よく考え、すすんで学ぶ子
- ◎思いやりのあるやさしい子
- ◎健康で明るい子
- ◎力を合わせてやり抜く子

2 目指す学校像

「誰もが幸せになれる学校」～明るい笑顔、すてきな挨拶、歌声響く三大小～

（1）子ども達にとっての幸せ

- ・人間関係が良好で、自分の居場所があること。
- ・授業がよく分かり、勉強が楽しいと思うこと。
- ・みんなで目標に向かって力を合わせること。
- ・セルフエスティーム（自尊感情、自己有用感、自己肯定感）が高まること。

（2）保護者の方にとっての幸せ

- ・こどもが毎日元気に登校すること。
- ・こどもにとって学校が安定・安心・安全な場であること。
- ・こどもの成長（学習、生活、体力、心）が感じられること。

【保護者・地域の願い】

- ・人に対するやさしさ（あいさつ）
- ・自ら挑戦するたくましさ、確かな学力
- ・地域を大切にする心（愛着・誇り）
- ・学校が地域が保護者がひとつに（創立期の願い）

（3）地域の方にとっての幸せ

- ・地域の方と子ども達との交流があること。
- ・地域の教育力が教育活動に取り入れられ、子ども達の学びに役立っていること。
- ・将来、地域を背負ってたつ子ども達の成長が感じられること。

- ・子どもが毎日元気に登校すること。
- ・学校が安定・安心・安全な場であること。
- ・子どもの成長（学習、生活、体力、心）が感じられること。
- ・地域の方と子ども達との交流があること。
- ・将来、地域を背負って立つ子ども達の成長が感じられること。

（４）教職員にとっての幸せ

- ・子ども達と充実した毎日を過ごすことを通して、子ども達が成長すること。
- ・職場の人間関係や雰囲気がよく、気持ちよく仕事ができること。
- ・教職員同士が切磋琢磨しながら、専門性を高められること。
- ・職務における自律性が発揮できること。

４ 期待する教職員像・教師像

子どもが好きで、こどもの思いや願いをくみ取れる感性豊かな教職員

教育公務員としての自覚をもち、保護者や地域の方から信頼される教職員

こどもの成長のために、保護者や地域の方と連携・協力し合って教育にあたることのできる教職員

授業のねらいを明確にして、子どもにとって分かりやすく充実した授業を展開できる教師（校内研究 校内研修 三大 0JT）

専門職としての教師の指導力（学級経営力、授業指導力、保護者対応力等）の向上を目指し、絶えず学び続ける教師（校内研究 校内研修 三大 0JT）

心と身体の健康を保つことのできる教職員

５ 自ら期する校長像

子ども達には「愛情」を、教職員には「信頼」と「感謝」の念をもち、共によりよい学校づくりを目指す。

最終責任者としての自覚をもち、「感謝、迅速、笑顔、安全」をモットーに安定した学校経営を行う。

判断は、子どもにとって何が一番大切かを、法的、教育的、人間的の３点から総合的に考え、行っていく。

危機管理にあたっては「隠さない」「逃げない」を基軸に、迅速かつ全力で対応する。

家庭、地域との連携を深めながら地域に根ざした特色ある学校づくりを行い、保護者や地域の方の信頼に応える。

６ 目指す学校像実現に向けて

子ども達の幸せの基盤

（１）安定・安心・安全・健康

安定した学年経営・学級経営

- ・学年・学級が子どもにとって安心できる場である。
- ・教師と子ども、子ども同士の温かい人間関係がある
- ・分かりやすい授業が行われ、勉強が楽しい

安全教育の充実

- ・「もしかしたら・・・」の意識をもたせ、危険を予測し回避できる能力を育成する。
- ・日常的、計画的な安全指導を充実させる。
- ・教科等における安全学習の推進

アレルギー対応

- ・アレルギー事故を起こさない校内体制 ・的確なアレルギー対応
- ・アレルギー研修会の実施

不登校対応

- ・不登校の未然防止 ・教育相談体制 ・関係機関との連携

外遊びの奨励

- ・朝遊び、放課後遊びの時間の確保 ・クラス遊びの機会を設ける

保健指導を通した健康づくり

- ・養護教諭による保健指導 コロナ対策 歯磨き指導（コロナ禍の中では中止）

給食を通した食育指導

- ・心身の健康を支える美味しい給食 ・給食を通して日本・外国の文化を学ぶ
- ・季節を感じさせる行事食 ・カミカミデー

セルフエスティーム（自尊感情、自己肯定感、自己有用感）

・「自分は大切な存在だ。」「自分はみんなの役に立っている。」「自分のことが好きだ。」等、自分のことを肯定的にとらえられる機会を教育活動の中に設けていく。

非認知能力を高める

・全教育活動を通して、自分と向き合う力（自制心、忍耐力、レジリエンス）自分を高める力（意欲、自信、楽観性）他者とつながる力（共感性、協調性、コミュニケーション力）の視点を意識していく。

こども達の幸せを実現する３点

（１）授業がよくわかる・学ぶ楽しさ

「主体的・対話的で深い学び」の実現

・PDCAを重視した授業改善

・校内研究（算数）やOJT授業公開における授業研究

・「話し合い活動」の充実 ・児童の意欲や主体性を高める授業展開

・「学習の計画や見通し」「自分の学びの振り返り」等を積み重ねる。（自己調整力）

「こうとう学びSDネクストステージ」の定着

・学び方スタンダードの徹底（教師の意識、指導の仕方、日々の取組・振り返り）

・こうとう学びスタンダード定着を目指した授業改善

・算数少人数指導の充実 個に応じた指導（組織的な朝学習、三大寺子屋の充実）

問題解決的な学びを重視した授業展開

・課題に主体的に向き合い、他者との関わりを通して、課題を解決する学習を行う

・課題を解決する手段として下記の３点を取り入れる。

*PC端末の活用 *ペア・グループでの協議 *外部人材の活用

PC端末の効果的な活用

・授業中、電子データで動画や画像の資料を活用する。・プログラミング教育

・問題解決学習における情報収集を行う。・プレゼンを活用して考えを発表する。

・授業の中で、友達と意見交換を行う。・家庭で予習、復習を行う。

人間関係が良好・自分の居場所がある

ニコニコ大作戦の推進（人権教育）

・人権教育の視点を明確にした授業実践（話し合い活動、人権課題を取り上げる）

・学校全体での取組（縦割り班活動、あいさつ運動、長縄チャレンジ、人権俳句等）

・よりよい三大小を目指した児童主体の活動（いじめ撲滅、挨拶、言葉遣い、安全）

・校内環境の整備（言語環境、掲示物、配布文書等）

多様な他者とふれあう活動

・授業における話し合い活動 ・縦割り班活動 ・異学年交流活動

・保幼小交流の取組 ・小中連携の取組 ・地域の方や保護者とふれあう活動

「いじめ」、「こどものトラブル」等の対応

・いじめ防止対策委員会を中心に組織的にいじめ未然防止、早期発見、早期対応

・教職員によるこども達の情報共有 ・トラブルに対する複数指導

礼儀正しい三大小

・「顔見て挨拶しぐさ」「自分から挨拶しぐさ」「ペコっと会釈しぐさ」「シャキッとお辞儀しぐさ」等の三大しぐさを復活させ、礼儀正しい三大小を目指す。

・クラスごとの挨拶運動

（３）みんなで目標に向かって力を合わせる。

１ 学校行事の充実

・厳粛な気持ちで儀式的行事を行い、学校生活の節目をつくっていく。

・みんなで力を合わせて、運動会・学芸会や遠足・集団宿泊行事を成功させる。

２ 学年・学級の取組

・学年・学級目標の設定 ・自治的な集団づくり ・学級組織作りや役割

・学年・学級行事

３ 体育的活動

・学校全体で取り組む持久走週間 ・目標を決めて取り組む長チャレ週間

４ 歌唱、合奏、鼓笛指導

校 長 中澤 清人

ご 挨拶

昨年度に引き続き、本校校長を務めることになりました中澤でございます。

今年度も学校経営方針を「思考力・判断力・表現力の育成と学力向上」として教育活動を実施してまいります。子供たちが授業に積極的に参加し、学習することが楽しくなるように指導法を工夫改善することで、子供たちが毎日楽しく登校し、安心・安全に過ごせる学校づくりに取り組んでまいります。

さて、今年度の花野井小は、児童数 261 名（1 年生入学予定者を含む）学級数 13 学級となりました。また、転任、新任の職員が着任し、新体制の花野井小学校の令和3年度がスタートしました。

学校教育目標「自ら学び 心も体もたくましい児童の育成」の実現に向けて教職員が一丸となり「チーム花野井小」として力を合わせて児童の育成に取り組めます。

「わかる・できる」が実感でき、安心して学習できる学校を目指し、学力の向上を中心に据えて学校経営を行ってまいります。3 年間実践してきました「柏市算数授業改善プロジェクト」は終了しましたが、今後も昨年までの成果を生かしながら、常に改善を行い、指導技術の向上、児童の躓きの解消、効果的な補充学習を目指していきます。

今年度より「柏市ギガスクール構想」がスタートし、一人一台のタブレット端末が配備されました。せっかく配備された I C T 機器を宝の持ち腐れにせず、効果的に活用する方法を研修し、子供たちの学力向上に役立てていきたいと考えています。また、臨時休業になってしまうようなことがありましたら、オンライン授業等も行えるように研修を進めたいと考えています。

コロナウイルス感染症は、依然、猛威を振るい、最近はまだ増加傾向にあります。もうしばらくの間は、様々な制約がある中での生活が続きますが、感染対策を講じながら学校の活動を進めていきたいと考えています。

子どもたちがよりよく学び、よりよく成長するためには地域の皆様、保護者の皆様のご支援、ご協力が不可欠です。今後も、本校の教育活動にお力をいただきますようよろしくお願いいたします。